

大豆栽培情報 8 月号－ 3

令和 4 年 8 月 1 6 日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【大豆】

1 生育概況

播種は、7月1日頃から開始され、ピークは、11～14日でした。出芽も順調でしたが、19日頃の大雨等により冠水したほ場の一部で播き直しが生じました。生育は順調に進んでいますが、播種時期に差があるため、生育に差が見られます。

2 病害虫防除

ハスモンヨトウの発生は現在までのところ平年より少ないですが、今後は発生が多くなることも予想されます。開花期（8月下旬頃）に食害を受けると、収量低下の要因となりますので、ほ場での発生状況を確認して防除を行ってください。

また、ほ場内で葉の裏に幼虫が群生している白変葉を見つけた場合は、早めに除去します。

○1回目防除（以下のいずれかの薬剤を使用）

薬剤名	防除時期	希釈倍数	散布液量	備考
ノーモルト乳剤	8月27日 ～9月2日	2,000倍	100L/10a	・脱皮阻害剤 ・使用回数：2回以内 ・収穫14日前まで
プレオフロアブル		1,000～ 2,000倍		・材料の量は1,000倍 で使用 ・使用回数：2回以内 ・収穫7日前まで

3 水管理

○乾燥対策

開花期～莢伸長・子実肥大期には適度な土壌水分が必要になります。しばらく降雨がないと予想される場合は、早めに本暗きよの栓を閉めます。なお、降雨が続き、ほ場に水がたまるような場合は、本暗きよの栓を開けて排水に努めます。

○排水対策

令和3年産大豆では、8月11日からの大雨により、浸・冠水の被害が発生しました。今後大雨が発生した場合に速やかに排水を行えるよう、中耕・培土でできた溝を排水溝に確実に繋げるなどの整備を行います。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釈倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限 等）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！